

# プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 三宝会

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

利用者沖縄戦跡見学旅行

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

太平洋戦争でも最も戦火の激しかった場所のひとつである沖縄を訪れ、戦跡をめぐることにより、戦争の悲惨さを身をもって感じる。さらに内地とは異なる米軍の基地を間近で見ることにより、戦争の影響が現在にも色濃く残っていることを学ぶ。

上記の経験をする事により、職場の仲間や友人に対する無用な気後れや引け目を感じないようにさせ、利用者自身に経験に基づいた自信を持たせるように働きかけることができる。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

目的地	沖縄県
宿泊地	那覇ほか
参加予定人数	児童3、退所者2、職員3
旅費等	71,000円/人
目的	利用者同士や退所者との交流の機会をつくり、現在の生活やこれからの自分の進む道や方向性をより具体的に考えさせ、就業意欲や積極性の向上を図る。また、利用者と24時間行動をともにすることにより、各人の性格・行動傾向をよりの確に把握する。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回は利用者だけでなく職員も沖縄未経験の者が多かったため、できるだけ沖縄特有の文化、自然に触れることができるようにした。たとえば、昼食や夕食の際は、ソーキそばや海ぶどう、ラフティーなど沖縄の郷土料理を民家を改造した店などで食すようにした。また、沖縄には、なぜ木造の家が極端に少ないのかなどを、ガイド兼務のドライバーさんに説明をしていただいたりした。

事前学習では、利用者の能力的なこともあるので、「さとうきび畑のうた」や「連合艦隊」などの映画を、一時停止をし、職員がその都度解説をしながら鑑賞した。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

戦跡ではこちらの予想に反して、退所者を含む全員が資料や展示物を熱心に見る姿があり、見学予定箇所を省略したところもあった。系数アブチラガマでは、ガイドさんの説明に涙を浮かべながら、聞き入っていた。将来、自分たちが選挙権を取得した際には、今回の経験もふまえて投票するように指導した。

今回は昨春に自立退所した2名に参加してもらい、退所後の生活を直に話してもらったが、退所者のほうも自分が現利用者をまとめなければという自覚のもとに行動していたと確認できた。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

# スナップ



海軍戦没者慰霊塔



旧海軍司令部壕



首里城



ひめゆり平和祈念資料館



沖縄県平和祈念資料館



ガイドの沖縄戦の説明